

平成31年度 社会福祉法人博友会 事業報告

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児		1・2歳児		3歳児		4歳児以上		合計
	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	
4	5	0	28	2	16	2	38	2	93
5	7	0	28	2	16	2	38	2	95
6	9	0	29	2	17	3	38	2	100
7	9	0	28	2	17	3	38	2	99
8	9	0	29	2	15	4	38	2	99
9	10	0	29	2	15	4	38	2	100
10	10	0	30	2	15	4	38	1	100
11	10	0	30	2	15	4	38	1	100
12	10	0	31	2	15	4	39	1	102
1	9	1	31	1	13	6	38	2	101
2	9	1	30	2	13	6	38	2	101
3	9	1	29	2	13	6	38	2	100
合計	106	3	352	23	180	48	457	21	1,190

事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	245人
延長保育	332人
休日保育	285人
病後児保育	15人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	1日 入園式 10日 幼年消防任命式（年長児）
5	9日 救助隊見学（年長児） 15日 春の親子遠足 17日 内科検診 21日 歯科検診 28日 交通安全教室 31日 さつまいも苗差し
6	22日 保護者会総会・保育参観日 12日 歯科検診
7	1日 プール開き 2日 じゃが芋掘り 5日 花火教室 7日 七夕の集い 16日 とらのこまつり 26日 卒園児との集い
8	30日 プール閉め
9	2日 総合防災訓練 22日 運動会
10	3日 秋の遠足 8日 防火パレード 16・30日 保護者会奉仕作業 29日 さつまいもほり
11	15日 七五三を祝う 24日 焼き芋
12	14日 発表会 17日 もちつき大会 19日 あすなろクリスマス会 24日 クリスマス会
1	22・27日 以上児特別教室保育参観 25日 未満児保育参観
2	3日 節分の会 21日 幼年消防修了式（年長児） 27日 年長児交通安全教室
3	3日 雛祭り・人形劇 5日 お別れ遠足 16日 お別れ会 21日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月1回 出席者：主任、副主任、専門リーダー

開催日	主 な 議 題
4月18日	・保育の問題点 ・研修予定 ・備品について
5月16日	・保育の問題点 ・とらのこまつりについて ・親子遠足について
6月21日	・保育の問題点 ・運動会について ・七夕祭りについて
7月23日	・保育の問題点 ・防災訓練について ・遠足について ・研修について
8月27日	・保育の問題点 ・保育の日の研修について・
10月3日	・保育の問題点 ・実習生について ・防災訓練等その他行事について
11月13日	・保育の問題点 ・感染症について ・委員会連絡 ・行事について
12月11日	・保育の問題点 ・砂場の安全点検について ・未満児参観日について
1月15日	・保育の問題点 ・入園説明会について ・タイヤ設置の遊具について
2月7日	・保育の問題点 ・第三者評価の確認事項 ・未満児、以上児会議について
3月18日	・保育の問題点 ・自己評価について ・卒園式、入園式について

●全体会議

開催時期：毎月第4水曜日 出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
4月1日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・保育指導計画
4月24日	・行事予定の内容、連絡 ・とらのこまつりについて ・勤務表について
5月22日	・保育参観、プール開き、とらのこまつりについて
6月26日	・5月の行事反省 ・七夕まつり、運動会について ・各委員会より
7月24日	・6月の行事反省 ・防災訓練、運動会について ・各委員会より
9月2日	・7～8月の行事反省 ・防災訓練の反省 ・敬老会、遠足、運動会について
9月25日	・9月の行事反省 ・秋の遠足、保育の会、入所予定について ・各委員会より
10月24日	・10月の行事反省 ・発表会、芋ほり、七五三について ・各委員会より
11月20日	・11月の行事反省 ・餅つき、クリスマス発表会について ・各委員会より
12月18日	・12月の行事反省 ・保育参観について ・各委員会より
1月22日	・1月の行事反省 ・節分の会、人形劇、卒園式、お別れ会について ・委員会より
2月19日	・2月の行事反省 ・ひな祭り、お別れ遠足、卒園式、入園式について ・各委員会より
3月21日	・3月の行事反省 ・卒園式、入園式について ・次年度の行事等確認

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4月13日	御殿場市保育の会総会	園長・保育士	9
4月26日	静岡県保育所連合会総会・施設長研修	園長	1
4月21日	静岡県保育士会東部やまなみ総会	保育士	2
月 日	内 容	職 種	人数
5月11日	原里地区一環研研修総会	園長・主任	2
5月25日	保育士会東部「睦会」	保育士	2
6月8日	御殿場市保育の会研修会	保育士	2
6月24日	静岡県保育士会やまなみ保育士会総会	保育士	2

7月6日	御殿場市保育の会リズム研修	保育士	2
8月26日	静岡県「園の防犯対策と子どもへの安全教室」	主任保育士	1
8月30日	中堅保育者研修会	保育士	1
9月19日	御殿場市幼保小合同連絡協議会	保育士	1
10月3日	静岡県東部保健所「給食施設の食中毒予防対策」	栄養士	1
10月16日	静岡県保育連合会「障碍児保育」(キャリアアップ)	保育士	2
10月18日	御殿場市保育の日研修会	保育士・栄養士	19
10月30日	主幹保育教諭研修会	副主任保育士	1
11月21日	御殿場市医師会・感染症研修	保育士	1
11月27日	御殿場市役所特別支援教育研修会	保育士	2
12月4日	御殿場市健康福祉センター	保育士	2
12月16日	静岡県保育連合会「マネジメント」(キャリアアップ)	保育士	2
12月17日	〃	保育士	2
1月28日	保育士会東部「睦会」	保育士	2
2月10日	御殿場市教育委員会指定研究	保育士	2
2月14日	市町幼児教育指導リーダー研修会	保育士	1
2月15日	静岡県保育士連合会	保育士	1

5. 委員会事業報告

毎月1回委員会を開催し、園運営の環境整備、衛生面の職員周知徹底を基本に、職員会議にて報告して委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図る。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	<ul style="list-style-type: none"> 常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指すため、勉強会や研修を企画し実施する。 園内研修の充実を図り職員の活動意欲を高める。日程を分けて職員全員の参加を基本とする。研修会等を通じて職員間の連携と情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた園内研修 <ul style="list-style-type: none"> 第1回グループディスカッション「指導計画について」 第2回グループディスカッション「バルーン講習」 原里地区一貫研研修の参加 県内外の外部研修参加 衛生委員会との共同で、看護師による感染症の知識を学ぶ。「AED講習会」 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体で一つのテーマに取り組み考える事により、保育に対し共通理解を深め、知識や技能の向上に繋がった。 配慮の必要な子に対する専門的知識を得ることができた。 次年度は外部講師などを招いての講習も企画したい。
広報・写真	<ul style="list-style-type: none"> 園内の壁面装飾と写真、ホームページの管理。 園児の生活風景を写真として記録し、保護者も子どもの成長を感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真の整理、注文 カメラ関係備品の管理 HPの更新 園内の壁面装飾 行事におけるスライド等製作 	<ul style="list-style-type: none"> カメラ等の使用方法についてルールを定め、利用しやすくした。 各委員が協力し、円滑に進められた。 職員紹介の写真は一ヶ月を目途に外す。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・病気の対応、環境衛生の管理を定め、園児の健康保持・増進を図る。 ・アレルギー児の確認、周知を図る。又、変更は随時知らせる。 ・看護師による指導を受ける。 ・感染症予防対策として、加湿器・空気清浄機を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急箱および各クラスの救急箱の管理(補充) ・消毒液の回収・補充 ・感染罹患シート回収・集計 ・掲示板に設置して、定期的に感染症や衛生管理の手洗いの仕方等を掲示する。 ・感染予防講習会参加 ・園児への保健指導 ・アレルギー児の表を作成配布。 ・アスファ水を使い効果を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理について保護者だけでなく園児へも促すことができた。そのため家庭にて健康についての会話も広がったようである。 ・アレルギー児の増加により、各クラスで誤飲の無い様全体の表を作成配布、顔写真を付け再確認をする。 ・感染症が流行らず、健康に過ごせる。
環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・人と物との環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう計画的に構成する。 ・保育環境の整備、向上とともに、施設内外の設備遊具等の管理をする。 ・修繕の個所を見つけ依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをする。 ・ヒヤリハットの管理 ・各クラスの不備を受け止め、園長に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回の物品発注が習慣化してきた。 ・環境チェックシートをうまく活用できた。 ・ヒヤリハットは、呼びかける事で意識が高まりつつある
食 育	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する年間計画を定め実施のサポートをする。 ・食物を育てる楽しさ、調理や食事の楽しさを味わう。 ・身近な食材に興味関心を持たせ、食物を大切に育てる心を作る。 ・年長児は、当番制で朝食食材準備を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育実践の計画を立て、準備に携わる。(苗付、草取り等) ・食育ひろば(掲示板)作成 ・食育だよりの発行。 ・給食で子どもの好きなおかずのレシピを印刷して、自由に持ち帰らせる。 ・食育のアンケートを配布、結果を報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育便りでは、保護者へ関心を高められた。 ・食育ひろばをうまく利用したい。 ・園児に向けた様々な食育をもっと発信していきたい。 ・園庭に小さな畑を設けて植物への関心を身近なものにしていきたい。 ・さつま芋の苗を水に置いて勢いをつけておく。